

表1 論文の構成

	項 目	内 容
表紙	タイトル（日本語・英語）	端的に内容を表す。タイトル(英語)は、原則として先頭の文字のみ大文字とする。
	著者名（日本語・英語）	著者全員の氏名
	所属機関名	著者全員の所属（右上付き文字で※1、※2を使い、著者名と対応させる）
	代表者の連絡先	筆頭著者の所属機関の住所(郵便番号含む)、郵便物受け取り住所、個人の電話番号、メールアドレス
	図表や写真の数	
	希望する原稿の種類	
	別刷希望部数	
	編集委員会への連絡事項	
要旨	要旨（日本語）	400字程度（目的・方法・結果・考察または結論等の見出しを付け、構造化して記載する）
	キーワード（日本語）	5つ以内（重要なワード順に記載する）
	要旨（英語）	要旨の英訳を、400words程度で記載する。
	キーワード（英語）	キーワードの英訳（原則として小文字使用）
※タイトル及び要旨の英語表記は、採択後、ネイティブによる専門業者の校閲を受け、証明書と併せて2週間以内に提出してください。		
本文	I 緒言（はじめに、など）	背景と目的
	II 方法（対象と方法、など）	対象と方法、倫理的配慮を記載する。
	III 結果	結果は、図・表などを使いわかりやすく示す。
	IV 考察	目的、結果に添い、論理的に矛盾や飛躍がないようまとめる。
	V 結語（結論、おわりに、等）	簡潔に結論を示す。
	謝辞	（必要な場合）
	付記	科学研究費など外部の獲得資金等の一環で行った研究である場合、必要に応じ記載する。
	文献	投稿規程に添って、引用順に示す
	図・表・写真	1頁に1枚ずつ作成する。図は、原則として、そのまま掲載できる明瞭なものとする。（タイトルの記載箇所：図と写真は下に、表は上に掲載する。表には縦罫線は使わない）

表2 「実践研究」の本文の構成

	項 目	内 容
本文	I 緒言（はじめに、など）	背景と目的
	II 方法	実践した活動に関する方法と内容ならびに倫理的配慮について記載する。
	III 結果と評価	事業や実践活動の結果やそこから得られた成果について記載する。
	IV 今後の課題と展望	実践を展開する際の研究的課題や実践的課題、今度似たような活動をする人たちへの示唆等を記載する。
	謝辞	（必要な場合）
	付記	科学研究費など外部の獲得資金等の一環で行った研究である場合、必要に応じ記載する。
	文献	投稿規程に添って、引用順に示す。
	図・表・写真	1頁に1枚ずつ作成する。図は、原則として、そのまま掲載できる明瞭なものとする。（タイトルの記載箇所：図と写真は下に、表は上に掲載する。表には縦罫線は使わない）